

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 金 沢 市 立 戸 板 小 学 校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例：小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒 9 2 0 - 0 0 6 8

石川県金沢市戸板1丁目1番地

E-mail toita-e@kanazawa-city.ed.jp

Website http://cms.kanazawa-city.ed.jp/toita-e/

幼児児童生徒数 男子 401 名 女子 385 名 合計 786 名

幼児・児童・生徒の年齢 6 歳 ~ 12 歳

2. 報告期間

平成 2 9 年 4 月 ~ 平成 3 0 年 3 月

※報告書提出時点~平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、『共に生きる~「かかわり合いながら学ぶ」問題解決の学習を通して~』を主要テーマとして持続発展教育の実践に取り組んだ。

① 3年生の取組 「大豆発見隊」

学習をスタートするにあたり、大豆についての疑問や知りたいことを出し合った。「大豆はどのようにできるのか」「大豆製品にはどんなものがあるのか」「大豆からどのようにして豆腐や味噌になるのか」など、それらの疑問を解決していくことを目的に、学習を進めることにした。

まずは、自分たちで大豆を植えて、大豆の生長を観察した。そして、大豆製品に注目し、豆腐や味噌、醤油、ゆばの作り方や歴史、種類についてグループごとに調べ学習を行った。本やインターネットを使って調べる中で、身近な大豆製品について理解を深めていった。11月に行われた「学習発表会 in 戸板」では、調べて分かったことや考えたことなどを、資料を交えて4年生や保護者、地域の方に発表した。

体験や見学、調べ学習などを通して大豆について深く知り、大豆が身近な存在であることに気づくことができた。また、作り手の思いや苦労も知ることができた。昔ながらの製法を取り入れた先人の考えに寄り添いながら、先人の知恵と技術のすばらしさを感じることができた。



②4年生の取組 「〇〇にやさしく」

1学期は「人にやさしく」というテーマで正美保育園の園児との交流を行った。子どもたちは、事前に園長先生の話の聞いたり、保育園に見学に行ったりして、園児たちが好きな遊びや園内での過ごし方を知った。交流では、事前に知り得た情報を生かして遊びを工夫して行うことができていた。

2学期は、「環境にやさしく」というテーマで、地球の環境問題について問題意識をもち、課題を見つけた。「絶滅危惧動物」「異常気象」「自然破壊」「温暖化」「発電エネルギー」と5つの課題に整理し、学級ごとに調べた。図書館の本やインターネットを利用し、複数の文献から要点をメモした。調べたことを学習発表会として、3年生に発表した。パネルやペーパーサート、クイズなどで分かりやすく伝えることができた。発表の最後には、現時点で自分たちにできることを発信し、3年生や保護者・地域の方に環境保護を訴えることができた。

3学期は「地域にやさしく」というテーマで、金沢ふるさと学習として金沢の伝統工芸に触れた。実際に加賀友禅体験を行うことで、伝統工芸に興味をもち、伝統を守り続けることの大変さと大切さを感じることができた。

③5年生の取組 「めざせ！〇〇マスター」

1学期は「めざせ！加賀野菜マスター」というテーマだった。4月の遠足で安原の農業センターに行き、職員の方の話の聞きながら栽培の様子を見学し、自分が興味のある野菜を見つけた。その野菜の特徴や調理法などについて、パソコンや本などの様々な方法で調べた。さらに、中央共同調理場の岡田教諭との特別授業を通し、給食献立の考え方を学んだ。最後には、自分なりに工夫した給食献立を全員が考え、「じわもん給食」に応募した。

2・3学期のテーマは「めざせ！犀川マスター」である。学習をスタートするにあたり、身近な川「犀川」の中流である若宮大橋付近に出かけ、生き物や地形、石などの様子を観察した。若宮大橋付近で水生生物を捕獲し、水質階級の判定表をもとに、犀川中流の水はきれいだということを知った。

そして、上流の駒帰、中流の子ども交流センター、下流の金石港周辺に行き、生物、地形、環境などの観点で調査を行い相違点や共通点を見つけた。その後、生物、地形、環境、植物というグループに分かれて、インターネットや本でさらに詳しく調べたり考えたりしたことを校内児童や保護者、地域の方、そしてお世話になった方に「学習発表会 in 戸板」で発信した。金沢に生きる一人として、犀川の環境について考え、学びを深めることにつながった。



④6年生の取組 「金沢発世界行き」

児童の金沢に対するイメージの実態把握を含め、「金沢ってどんな町？」と投げかけることから本年度の学習がスタートした。子ども達はこれまでの学習を生かした発言や生活経験から感じていた金沢に対する印象を出し合った。「金沢城や兼六園」、「尾山神社や東山の茶屋街や武家屋敷がある」という発言が多く出され、「金沢は、歴史がある名所や建造物がたくさんある都市だ」とまとめられた。また、多くの観光客が金沢の名所を訪れるために旅行に来ていることや、外国人観光客が「名所見学」が目的で訪れる人が多いことを紹介した。「金沢の魅力をもっと知りたい」「金沢のことを紹介したい」「もっと外国の人に金沢のよさを知ってもらいたい」という思いを強く持ち、「金沢発世界行」とテーマを設定し、学習計画を立てた。

特に意見が多かった「兼六園」「金沢城」に出かけ、金沢のボランティアガイド「まいどさん」の案内で、歴史ある建造物に直に触れることができ、それを生かしてパンフレットを作成した。また、秋には「歴史博物館」、「武家屋敷跡」、「天徳院」、「尾山神社」へグループで見学計画を立てて探検してきた。これらの活動で得たことを発信しようということで、11月に校内の学習発表会で5年児童や保護者、地域の人に金沢の魅力を紹介することができた。また、1月には、国際交流員の方3名をお迎えして、金沢の魅力を発信した。さらに、それぞれの国の金沢と違うところや姉妹都市、金沢とのつながりについて教えてもらい、驚きながら興味をもって交流ができた。子ども達は、街並みや建造物が金沢と大きく違うことに驚くと共に、合わせて話して頂いた生活様式や文化について興味を抱くことができた。

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

「のびゆく金沢」(金沢市小学校社会科副読本) 「こども金沢市史」 「華やか金沢」(金沢市小学校伝統・文化副読本) 「金沢育ちの野菜果物」(金沢市農業振興課発行) パンフレット「いしかわたべものがたり」(石川県農林水産部生産流通課発行) パンフレット「加賀野菜」(金沢市農作物ブランド協会) 「川の生き物を調べよう」水生生物による水質判定 環境省 水・大気環境局, 国土交通省河川局編 金沢市ホームページ 金沢市観光協会ホームページ 金沢商工会議所ホームページ 金沢伝統工芸ネット 金沢・クラフト広坂ホームページ DVD「みんなで偉人に会いに行こう!」(著: 金沢ふるさと偉人館) “いいね金沢”加賀野菜公式ホームページ 加賀野菜<丸果石川中央青果>ホームページ
--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

ESDカレンダーを学年毎に作成し、各教科及び道徳との関連を分かりやすくし、学年内で共通理解を図った。また、それを週案に綴じ、いつでも見られるようにした。指導内容については、年に2回見直しをし、よりよい学習内容になるよう図っている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

学習委員会からESD担当、各学年の代表担当者が中心となり、取組が滞りなく行われる体制作りをしている。また、学年で学期毎に学習内容の掲示を各学年で行うことで、取組内容のふり返りを常にできるようにしている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

年に一度、学習発表会を開き、テーマについて調べて分かったことや考えたことを一学年下の児童や保護者、地域の方に伝えている。その際の保護者アンケートから、肯定的な感想をたくさん頂いている。また、児童による振り返りにおいても、学習した過程や結果をわかりやすくまとめ、伝えられたというものが多かった。課題として、他校との交流が途絶えているので、ESDの学習に取り組んでいる学校との交流を検討している。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

年に一度、学習発表会を開き、テーマについて調べて分かったことや考えたことを一つ下の学年に伝えている。そうすることで、相手意識がはっきりし、その相手の学年に応じた表現の仕方を工夫しようとする姿が見られ、相手の反応から達成感を得られた。発表を聞いた学年にとっても、来年度への見通しをもつ機会になった。また、保護者や地域の方にも参観して頂くことで児童が意欲的に活動するきっかけの一つとなっている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

特になし

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

過去は、他校と各学年各々に交流を行っていたが、学年によっては学習内容が大きく異なり交流の意義を見出すことが難しくなっていた。学習内容に共通点がある学校との交流を図れば、児童にとってより充実し、次年度へ生かされるものになるので、交流校を検討している。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

学習発表会が、保護者に学習活動や児童の成長を知らせる機会になった。また、地域との関係づくり、地域の人的・物的資源の開発につながり、児童の地域に対する愛着が生まれた。

(3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

予定として、学校テーマを「共に生きる」と設定し、人・物・こととの関わりの中から課題を見つけ、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。

3年生は、テーマを『のこしたいもの、つたえたいもの』とし、地域にのこる伝統行事や食文化について、活動を体験したり、地域の方々のお話を聞いたりして、これまでつたえてきた人々の思いや努力を知り、これからのこしていくためにどうしていけばよいか考えることをねらいとする。

4年生は、テーマを『人にやさしく』とし、保育園や老人ホームでの見学や交流・体験活動を通して、園児達やお年寄りとの関わり方を考えることや、金沢の偉人や伝統工芸について、見たり調べたり体験したりすることを通して、より地域に愛着をもつことをねらいとする。

5年生は、テーマを『〇〇マスターになろう』とし、校区を流れる犀川に生息する生物・植物の観察を通して、川の環境と自分たちの生活とのかかわりについて理解し、よりよい生活について考えることをねらいとする。

6年生は、テーマを『金沢発世界行』とし、金沢の名所や伝統芸能、伝統工芸などについて調べる活動を通して、金沢のまちのよさを知るとともに歴史を大切にすまちづくりの考え方を理解する。また、国際交流員との交流や外国について調べる活動を通して、他国の生活や文化を知ること、さらに、金沢（日本）と外国を比べる活動を通して、自分たちのまちやくらしについて世界とのつながりの中で考えることをねらいとする。